

vol.6

『命を守る行動とソナエ』上



新聞紙のスリッパ作りなど防災グッズ作りで防災意識を高める参加者たち

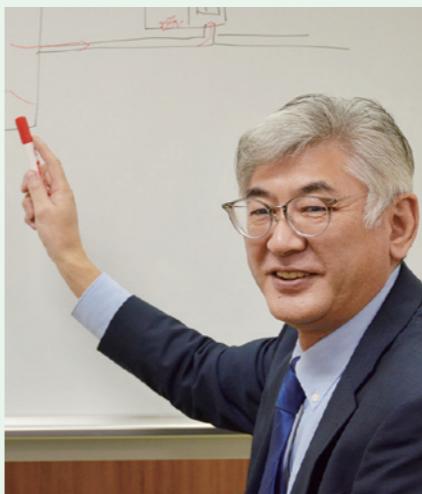
防災士は、平時は自分の身の回りの家庭や職場などで防災・減災対策をしたり、地域や企業などで啓発や訓練・研修などを行ったりしています。災害発生時には消防や警察、自衛隊と協力し、消火活動や救出活動、避難誘導を手伝えます。災害発生後は自治体や防災関係機関、NPO（非営利法人）などと連携し、被災者の支援にあたります。

私が県防災士会の設立に取り組んだのは、2011年3月11日の東日本大震災の時に、地元の防災士の活動があまり見えなかつたからです。资格を持っているのだから、みんなで協力してやつていこうと、県内の防災士に呼びかけ、震災

社会の防災力高める

防災グッズ作りでは、ビニール袋を使つたビニールベストや新聞紙のスリッパなどを作ることを通じて、日頃から災害に備えることの大切さを再認識する方が多くいます。

防災のために一番実践してほしいのは、非常時の持ち出し品や備蓄品などの準備です。そしてハザードマップで自分の住んでいる場所にどんな危険があるかを把握し、災害関連情報どのように入手するかなどに興味を持つて取り組んでほしいと思います。



福島県防災士会理事
藁谷 俊史さん

の翌年に発足しました。県内には防災士が4915人（昨年12月末）います。そのうち129人が当会の正会員として県内の14団体と連携して活動しています。

県内では東日本大震災以降も、2回の福島県

沖地震や東日本台風などの自然災害が相次い

ています。当会では防災講演会やイベントなど

で、幅広い年代に防災啓

発や災害対応のノウハウを伝える取り組みを

しています。

県内では東日本大震

災以降も、2回の福島県

沖地震や東日本台風な

どの自然災害が相次い

ています。当会では防災

講演会やイベントなど

で、幅広い年代に防災啓

発や災害対応のノウハウを伝える取り組みを

しています。

毎月11日は
いい11備えの日

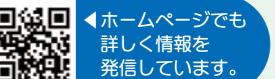
#イイソナエ
キャンペーン

福島民友新聞社とふくしまFMが共同で展開する防災啓発特集「#イイソナエキャンペーン」。

第6回は「命を守る行動とソナエ」です。福島県防災士会理事の藁谷俊史さん（いわき市）に、防災士の役割と災害から命を守るために日頃からの備えなどについて伺いました。2回にわたり紹介します。

企画・制作／福島民友新聞社営業局

プレゼント企画
実施中！



◆ホームページでも
詳しく情報を
発信しています。

福島民友 × ふくしまFM × 福島県

いざという時に慌てないために 日ごろの備えはできていますか？



私たち #イイソナエキャンペーンに
協賛しています。

